

仙台北部道路

富谷地区舗装詳細設計

特記仕様書

令和7年4月

東日本高速道路株式会社 東北支社

仙台工事事務所

第1章 総則.....	1
1－1 調査等概要.....	1
1－2 適用する共通仕様書.....	1
1－3 テクリスへの登録.....	1
1－4 履行期間.....	2
1－5 資料の貸与.....	2
1－6 受注者相互の協力.....	2
1－7 発注者または監督員が行う協議.....	3
1－8 関連施設とその他の関係.....	3
1－9 計画工程表.....	3
1－10 調査等打合簿の作成及び提出について.....	4
1－11 工事記録情報の作成及び提出について.....	4
1－12 三者協議会について.....	5
1－13 ウィークリースタンスの取組み.....	5
第2章 業務細部に関する事項.....	6
2－1 業務の内容.....	6
2－2 設計条件.....	6
2－3 舗装設計.....	6
2－4 工事発注用図面作成.....	7
2－5 打合せ.....	7
2－6 交通費・日当・宿泊費.....	8
2－7 成果品に関する細部事項.....	8
第3章 補足事項.....	8
3－1 設計図書の変更及び追加が予想される内容.....	8

添付資料

- 様式－1 計画工程表
- 様式－2 履行期間通知書
- 様式－3 工事記録情報 完了届

第1章 総則

1-1 調査等概要

- | | | |
|-------|--------------------|---|
| 1-1-1 | 調査等名 | 仙台北部道路 富谷地区舗装詳細設計 |
| 1-1-2 | 道路名 | 仙台北部道路 |
| 1-1-3 | 履行箇所 | 自) 宮城県 利府町 沢乙 (S T A 9 1 + 0 0)
至) 宮城県 富谷市 富谷治部入 (S T A 1 6 3 + 8 0) |
| 1-1-4 | 主な履行内容 | |
| | 舗装設計 | |
| | 本線部設計 | 5. 8 0 k m |
| | 連絡等施設設計 (富谷 J C T) | 1 箇所 |
| | 標識設計 | |
| | 基本設計 | 6. 2 2 k m |

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和6年7月版とする。

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム(以下「テクリス」という。)に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日(以下「休日等」という。)及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- (1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内
- (2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内
- (3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1-1-3 「着手日等」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（本特記仕様書様式-2）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 60 日間（まで）

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 450 日間（まで）

※全体履行期間は余裕期間を含む日数

1-5 資料の貸与

共通仕様書 1-1-5-1 及び 5-2-3 「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
報告書一式	常磐自動車道 山元～岩沼間舗装詳細設計	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子データ
	仙台北部道路 成田高架橋他 1 橋基本詳細設計		
	仙台北部道路 富谷地区道路詳細設計		
	仙台北部道路 富谷 JCT 路線測量 (富谷 JCT B・D ランプの現況測量データ)	令和 7 年 11 月上旬	

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで、夏期休暇（3 日）を除く

1-6 受注者相互の協力

共通仕様書 1-2-0 「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
令和 7 年度 東北支社管内 諸設備支障移転設計	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日	(株)ネクスコ・エンジニアリング東北	東日本高速道路(株)	管路工位置調整
仙台北部道路 富谷 JCT 路線測量	令和 6 年 12 月 27 日～令和 7 年 10 月 22 日	仙東技術(株)	東日本高速道路(株)	成果品の使用

1-7 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1-16 「関係官公署及び関係会社への手続き」に従って行う協議以外である。また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無並びに予定時期を変更する場合がある。

(1) 道路関係

位置	道路名	管理者名	必要な協議	協議予定時期
仙台北部道路 利府しらかし台 I C ～富谷 I C	仙台北部道路	東日本高速道路 (株)東北支社 仙 台東管理事務所・宮城県警察 高速道路交通警察隊	交通規制 計画に 関する協議	設計協議用 図面作成時 実施予定

1-8 関連施設とその他の関係

共通仕様書 1-16 「関係官公署及び関係会社への手続き」に示す本業務に関連する主な施設及び管理者は、下表のとおりとする。

(1) 電力・通信施設関係

位置	施設名	管理者名	摘要
仙台北部道路 利府しらかし台 I C ～富谷 J C T	光通信ケーブル・メタル通信・電源ケーブル等	東日本高速道路(株)東北支社 仙台東管理事務所	
STA 141+40 付近	J C T 情報板	東日本高速道路(株)東北支社 仙台東管理事務所	

1-9 計画工程表

1-9-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1 「作業計画書の提出」(2)に示す作業計画書中の計画工程表(本特記仕様書様式-1)の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-5 「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、本特記仕様書 1-7 「発注者または監督員が行う協議」に示す協議予定時期、共通仕様書 1-9-3 「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項 目	備考
舗装設計	現地踏査	
	設計計画	
	平面設計及び図面作成	
	縦断図作成	
	標準横断図作成	
	詳細図作成、 設計協議用図面作成	
	数量計算	
標識設計	設計計画	
	平面図作成	
	数量表作成	
工事発注用図面作成	図面修正	
設計打合せ	-	
報告書作成	-	

1－9－2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は、共通仕様書 1－2 2 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告するとともに、共通仕様書様式第 1－4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1－1 4－3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1－1 0 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1－2 2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

1－1 1 工事記録情報の作成及び提出について

（１）受注者は、共通仕様書 1－4 4－1 「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は令和 6 年 7 月版とする。

（２）受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」（本特記仕様書様式—3）を調査等完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。

（３）工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路（株）東北支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

1－12 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者として協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

1－13 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受発注者間における仕事の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行することにより、業務環境等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取組みであり、本業務において積極的に取組むこととする。

取組内容は下記事項を標準として、契約締結後の打合せにおいて監督員と受注者として協議の上実施する取組み事項を定め、調査等打合簿を作成し相互に確認するものとする。

あらかじめ定めた取組み事項を実施できない事象が生じた場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議の上定めるものとする。

【取組み内容(標準例)】

- ① 月曜日を依頼の期限日としない
- ② 水曜日は定時の帰宅に心掛ける
- ③ 土・日曜に休暇が取れるように金曜日には依頼しない
- ④ 昼休みや午後 5 時以降からの打合せをしない
- ⑤ 定時間際、定時後の依頼、打合せをしない
- ⑥ 金曜日でも定時の帰宅に心掛ける

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の内容

本業務は、仙台北部道路 利府しらかし台 I C～富谷 J C T 間において、暫定二車線から完成四車線に拡幅するための舗装設計を行うものである。設計にあたっては、共通仕様書 5-6「舗装設計」、5-5「附帯工設計」、5-9「標識設計」、5-11「工事発注用図面作成」を適用する。

2-2 設計条件

設計条件は、次のとおりとする。

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| (1) 本線 | (2) 連絡等施設 (J C T (I C)) |
| 1) 道路規格 : 第1種 第2級 B規格 | 1) ランプ規格 : A規格 |
| 2) 設計速度 : $V = 100 \text{ km/h}$ | 2) 設計速度 : $V = 60 \text{ km/h}$ |
| 3) 車線数 : 暫定2車線供用後の完成
4車線 (2車線) | 3) 車線数 : 1方向1車線 |
| 4) 上下区分 : 上り線 | 4) 上下区分 : 上り線 |
| 5) 設計延長 | 5) 設計延長 |
| 道路部 : 5.19 km | Bランプ : 0.24 km |
| 橋梁部 : 0.61 km | Dランプ : 0.24 km |

2-3 舗装設計

2-3-1 本線部設計

(1) 詳細図作成

詳細図作成は次に示すとおり行うものとする。

内訳書の項目		図面種類	枚数	作成難 易度	簡易な応 力計算	備考
詳細図 作成	A	用・排水溝、 集水ます	6	簡単	無	用排水工
	A	構造物背面転圧工	1	簡単	無	のり面工
	A	舗装端部詳細図	4	簡単	無	舗装工
	A	床版防水工	1	簡単	無	
	A	防護柵工	5	簡単	無	交通安全施設工
	A	落下物防止柵	2	簡単	無	
	A	中央分離帯工	2	簡単	無	
	A	防護柵端末詳細図	1	簡単	無	終点部の暫定2車線 から完成4車線へ摺 付け図、路面標示工 含む
	B	撤去工詳細図	5	普通	無	
設計協 議用図 面作成	C	レーンマーク消去 標示工	4	複雑	無	起終点部の車線切替 え時のレーンマーク の消去・標示
	A	撤去工平面図	15	複雑	無	
	A	施工ステップ図	2	複雑	無	車線切替えに伴う起 終点における施工ス テップ図 (平面図・ 横断面図)
	B	施工ステップ図 (後続)	4	普通	無	施工ステップ図を用 いて、後続のステッ プ図を作成するもの

2-3-2 連絡等施設設計

(1) 詳細図作成

詳細図作成は次に示すとおり行うものとする。

内訳書の項目		図面種類	枚数	作成難易度	簡易な応力計算	備考
詳細図作成	A	路面標示工	2	簡単	無	B・Dランプ合流ノーズ部
	A	小構造物詳細図	2		無	B・Dランプノーズ工、用・排水構造物等
	A	ノーズ工	1		無	B・Dランプ合流ノーズ部
	B	ランプ切替平面図	4	普通	無	B・Dランプ切替時平面図
	B	ランプ切替横断図	2	普通	無	B・Dランプ切替時横断図
設計協議用図面作成	A	施工ステップ平面図	8	複雑	無	各ランプ新規ノーズ施工時の施工ステップ図
		施工ステップ横断図	2	複雑	無	
		仮設配管平面図	5	複雑	無	各ランプ新規ノーズ施工時の施設仮設配管図
		仮設配管横断図	1	複雑	無	

2-4 工事発注用図面作成

工事発注用図面作成とは、共通仕様書 5-11 「工事発注用図面作成」の規定に従って作成するものをいい、図面の区分、成果品項目及び図面の修正率は、下記のとおりとする。

内訳書の項目	図面の区分	図面の修正率	図面の内容	枚数	設計計算	数量計算	備考
図面修正A	比較的簡易な図面	10%未満	防草シート工	1	無	有	本特記仕様書 1-5 「資料の貸与」を用いて実施する
			階段工	1	無	有	
			眩光防止板	1	無	有	
			視線誘導標、距離標	1	無	有	
			縁石工	1	無	有	
			注意喚起溝工	1	無	有	
			逆走防止対策	1	無	有	
			滞水対策工	1	無	有	

2-5 打合せ

打合せの回数は、当初、中間、業務内容確認検査及び完了検査を含め 10 回とする。打合せの検測数量は 1 式とする。監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いが監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

なお、当初打合せに要する費用は現地踏査に含むものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社仙台工事事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

打合せの回数及び人数編成は下表のとおりとする。

種別		打合せ回数	編成（１回当たり）			
			技師長	主任技師	技師（Ａ）	技師（Ｂ）
舗装 設計 ・ 標識 設計	当初	１	現地踏査に含むものとする			
	中間	７	－	－	１	１
	業務内容確認検査	１	１	－	１	
	完了検査	１	１	－	－	１
	計	１０	－	－	－	－

上記については積算上の条件明示であり、編成を指定するものではない。なお、受注者の編成と異なる場合においても設計変更の対象としない。

２－６ 交通費・日当・宿泊費

技術業務直接人件費に関する、交通費・日当・宿泊費には、設計打合せ及び現地踏査に必要な交通費・日当・宿泊費を含むものとする。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・日当・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

また、ウェブ会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費についての取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

２－７ 成果品に関する細部事項

報告書の表紙は、黒色、金文字製本とする。

第３章 補足事項

３－１ 設計図書の変更及び追加が予想される内容

下記に示す事項については、関係機関との協議または現地状況等により変更または追加する可能性があるため、受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。また、これに要する費用については、監督員と別途協議するものとする。

（１）関係機関協議による詳細図作成及び設計協議用図面作成の追加

【様式一1】

(全体履行期間) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)
(実履行期間) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

業務内容確認検査●		●	完了検査
-----------	--	---	------

--	--	--	--	--	--	--	--

20	10	20	30	10	20	30	10

30	10	20	30	10	20	30	1
----	----	----	----	----	----	----	---

[illegible]

※作成時の留意事項

- ① 関係機関協議については該当事項をその都度記入のこと
- ② 協議待ちによる遅延の場合工程上のクリティカルを明示すること。
- ③ 工程計画に大幅な変更が生じた場合、協議時に発注者に提示し確認を行うこと。

様式－2

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 東北支社
支社長 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

調査等名 仙台北部道路 富谷地区舗装詳細設計

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2-1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2-2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3-1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3-2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3-3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3-2. 受注者が設定した業務の終期)

監督員 _____ 殿

受 注
管理技術者 _____ 印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名	東日本高速道路(株) 東北支社 仙台工事事務所		
調 査 等 名	仙台北部道路 富谷地区舗装詳細設計		
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。